

活動レポート

大野中学校での環境教育～大豆のはなし

日時：2023年10月5日 9:55～10:45

活動場所：平塚市立 大野中学校

対象：大野中学校の特別支援学級の生徒 12名

講師：金目川水系流域ネットワーク 5名

授業の目的：大豆が私たちの食生活になくてはならないこと、大豆と世界の環境について学び、大豆からもやしを作る装置の作りもやしを育てることを通して大豆、食物の大切さを学ぶ

活動内容：

(1) 大豆モヤシ作りの工作。

大豆についての「豆知識」から講義を開始。大豆を発芽させて育てるためのキットの作り方を説明し、実際に生徒たちに作ってもらいました。カッターやハサミを使うため、怪我をしないように注意して使うことをしっかりと意識してもらいました。また、根に出来るこぶの中のバクテリア、根粒菌バクテリアについての説明も行いました。



大豆の「豆知識」について説明

いよいよ、皆さんに大豆もやしを育てるためのキットの作成を行なって頂きました用意したのは用意するのは大豆、大豆のベッドになるヤシの繊維、生育容器となるペットボトル、もやしにするための牛乳パック。その他に工作のためのカッターナイフ、ハサミ、切ったペットボトルの縁をガードするためのテープなども準備しました。うまくできるかな…。



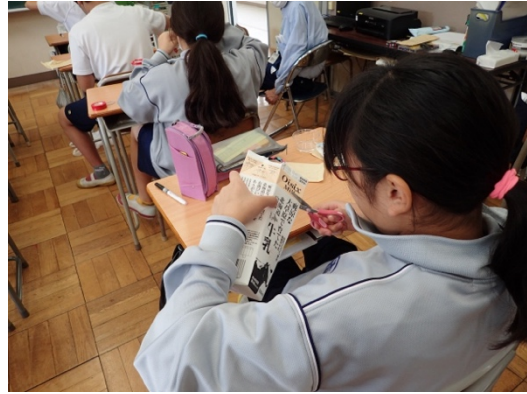
大豆もやし作成キット



カッターやハサミを使う時はメンバーがサポートし、怪我のない様に注意しました



ペットボトルを半分に切り、育成容器を作成。容器ができたらしヤシの繊維を敷き詰め、タイズをまきました。



大豆をもやしにするため、牛乳パックで覆いを作成しました



また、発芽した大豆が腐らないように水換えが大事なことや水換えの方法について説明しました。大豆もやしも生きているので、きれいな水がしっかりと吸収できることが大事なのですね。

(2) 大豆と世界の環境について。

大豆には五大栄養素のうち、植物ではめずらしくタンパク質が多いこと、また大豆は納豆や豆腐など日本食の多くに使われているのに食料としての自給率が6%しかなく、多くはアメリカやカナダからの輸入に依存していることなどを学びました。また、大豆生産量の多いブラジルでは農作物の生産のために森林破壊が起こっている事を学びました。私たちの生活が世界の環境と切り離せないことを学びました。



大豆が世界のどこから来るのか、「地球儀を使って説明」について説明

(3) 大豆と食べ物

私たちの普段食べている食べ物には、煮豆や枝豆だけでなく味噌、醤油、豆腐、油あげ、おからなど様々な形で大豆が使われていることを学びました。また最近はお肉の代わりに大豆を使った代替肉があることについても学びました。

これからも美味しい大豆料理を食べられるためにも近くで旬のものを食べる「地産・地消」が大事だということも学びました。

これからも美味しい料理が食べられます様に。

